

## 埼玉県総合リハビリテーションセンターだより

### <今号の内容>

- プールで健康づくり、はじめませんか?.....1
- 看護部長あいさつ.....2
- 新規採用医師紹介.....2
- 外来診療週間スケジュール.....4



発行： 埼玉県総合リハビリテーションセンター  
〒362-8567 埼玉県上尾市西貝塚 148-1  
TEL 048-781-2222

### プールで健康づくり、はじめませんか？



運動不足を解消したい！何かスポーツを始めたい！働くための体力をつけたい！運動を始める目的は、さまざまです。

センター内にある、厚生労働大臣認定「健康増進施設」は、障害のある方限定の、運動施設です。冷暖房完備の体育館と、5月から10月はプールでの運動指導を行っています。

当センターのプールは、障害のある方が出入りしやすいように、リフターとスロープを完備しています。水温は31.5℃で、一般のプールより高めに設定されています。また、異性介助ができるよう、フリースペースを用意しています。シャワー用車椅子でプールサイドを安全に移動できます。まずは水慣れから始め、安全な水中移動や呼吸の方法を確認します。浮く、潜る、といった、プール特有の基本動作に慣れ、泳ぎを習得される方もいます。その後、



リフターで退水する様子

地元のプールをご利用したり、水泳大会に参加したり、生涯スポーツとして、水泳を楽しんでいる方もいます。

体育館、プールともに、初回にはマンツーマンで体力測定を行い、障害の程度や体力レベルを確認します。ご利用は全て予約制で、有料です。ご利用希望の場合は、まず見学をお願いしていますので、電話やメールでお問合せください。見学、ご利用、お待ちしております。



スロープで入水する様子

(健康増進担当)

## 看護部長あいさつ



看護部長 西川 早苗

令和5年4月1日から看護部長に就任しました西川早苗です。

看護部は病院部門に属しており多職種との連携のもと、できるかぎりの自立を支援し安全で質の高い看護の提供に向けて努力しています。看護師達は「見守る」「待つ」「ともに考える」姿勢を基本理念におき、ひとりひとりの個性を重視した看護を提供し、患者様のQOL（生活の質）の向上をめざし頑張っています。

看護の役割は、「障害をできるかぎり受容し適応する過程を支援すること（心理面）」「障害により支障をきたしている日常生活行動を援助すること（身体機能面）」「社会生活再構築のための新しい技術や知識の獲得に向けた支援をすること（生活面）」といえます。

そして24時間を通じ間近で患者様の生活を見つめている看護師が、多職種との協働・連携のなかで、看護の視点で適切な情報を発信していくことも重要な役割です。当センターの看護師は、患者様の生活動作の獲得や気持ちの変化など、ひとつひとつのことを共に考え、喜び合えることが一番のやりがいだと言います。看護部長として、たいへん嬉しく感じる言葉です。「人が人として生きる」ことを支える看護の基本がリハビリテーション看護には詰まっていると思います。

埼玉県のリハビリテーション看護にこれからも貢献してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 新規採用医師紹介



氏名：佐藤 武文

出身医局：東京医科歯科大学

職名：医長

資格：神経内科専門医

診療科目：脳神経内科

研究・専門：脳神経内科一般、脳神経内科疾患

卒業学校：千葉大学

における検体解析

### <自己紹介>

今年度より赴任しました、卒後12年目の佐藤武文です。出身は神奈川県で、東京の中高に通い、大学は千葉に住み、東京の医局に入局して、こちらに参りました。

臨床推論の面白さから脳神経内科を志し、生活に長く強く影響を及ぼす神経疾患の診療を経験していく中で、リハビリなどの非薬物的介入や在宅療養との橋渡しをより綿密に取り入れて診療をできればと思っています。

以前は、オーケストラや吹奏楽、スキーの活動をしていましたが、その足も長らく遠のいています（スキーは復活の兆しあり）。最近の悩みは指扇からの自転車通勤の雨と向かい風で、運動不足の体に自転車通勤が少しはいい運動にならないかと淡い期待を抱いています。

院内で見かけた際には気軽にお声がけください。どうぞよろしくお願いいたします。

## 新規採用医師紹介



氏名：板谷 早希子

出身医局：東京医科歯科大学 脳神経内科

職名：医長

資格：神経内科専門医、総合内科専門医、日本摂

診療科目：脳神経内科

食嚥下リハビリテーション学会認定士

卒業学校：東京医科歯科大 研究・専門：脳神経内科全般

### <自己紹介>

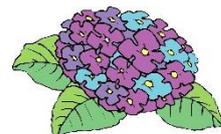
4月から赴任した脳神経内科の板谷と申します。

大学卒業後は都内や茨城県の病院で脳神経内科として働いて参りました。

もともと埼玉県出身で、高校生の頃からいつか埼玉の医療に貢献したいと思っており、この度異動してきました。これまでは、急性期病院で急性期脳卒中やパーキンソン病などの患者さんの診療に携わって参りましたが、センターでは神経難病の患者さんの診療やリハビリテーションに関わっていただけらと思っています。

脳神経内科の病気は、現在の医学では治癒ができない「難病」も多いですが、同じ病気や病状でも「病気とともはどう生きていくか」は患者さんによって様々です。みなさんが自分らしく、少しでも充実した日々が送れるよう、寄り添っていただけら思い、日々診療を行っています。

頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名：近藤 大志

卒業学校：順天堂大学

職名：医員

出身医局：順天堂大学リハビリテーション医学

診療科目：リハビリテーション科

研究・専門：リハビリテーション医学

### <自己紹介>

はじめまして、令和5年4月1日から診療部リハビリテーション科に赴任しました近藤大志です。大分県出身です。前任地の大学病院では急性期病棟を中心にリハビリテーション医療に従事しておりました。元々地元で回復期病棟のリハビリテーション科医として働いている叔父の影響もあり当科での医療従事を志していました。

リハビリテーション医学は患者様の生活・QOLというマクロな視点と、そのために必要な動きを運動単位レベルで考えるミクロな視点の両点を必要とする非常に難しくも興味深い学問、医療だと感じております。こちらでは回復期病棟ならではの、より患者様の生活・社会復帰を意識したプランを設定・実行できるよう努めて参りたいと思います。リハ科医としては今年で2年目と未熟ではありますが、これまでの経験を糧に task specific なリハビリ治療に患者様が安心して専念できるよう日々の対話を心がけて参ります。

不慣れでご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、見かけた際には気軽にお声がけ頂けると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

# 外来診療スケジュール

## 埼玉県総合リハビリテーションセンター 外来診療週間スケジュール

診療科目	脳神経内科	整形外科	リハビリテーション科	脳神経外科 【機能神経外科】	神経・精神科※2 【高次脳機能障害】	泌尿器科	循環器内科	歯科
月曜日	橋本祐二 《担当医師》※1	佐藤浩一【脊椎】※4 (第4月曜日)	堀 匠					永尾 康 久保英範 三浦雅明
火曜日	市川 忠 【パーキンソン病運動障害】	佐藤浩一【脊椎】※4 (第4月曜日)	堀 匠			井上泰之 (第1・3・5火曜日)	三田 謙	永尾 康 加藤誠一
水曜日	市川 忠 【パーキンソン病運動障害】 (第1・3・5火曜日)	川崎修平【関節】 請川 大	中原光三郎 【再診】					永尾 康 加藤誠一 久保英範
木曜日	板谷早希子	川崎修平【関節】	今井由里恵	大島秀規 (第3水曜日)	先崎 章 稲村 稔 (第1・3水曜日)			加藤誠一 久保英範
金曜日	佐藤武文	高木博史【関節】※3 (第2・4木曜日) 萩尾慎二【関節】 (第1・3木曜日)	堀 匠 【リハビリ計画】 (第1・3木曜日) 今井由里恵 (第2・4木曜日)	大淵敏樹 【再診】 大淵敏樹 【脳深部刺激療法外来 新患】			三田 謙	永尾 康 加藤誠一 久保英範
	担当医師 【脊髄/神経障害】	窪田浩平【椎間棘】 川崎修平【尖砂来】 三宅論彦【脊椎】※4 (奇数月第3金曜日)			先崎 章			
	市川 忠 【難病外来】 (第1金曜日は休診)							

※1 《 》は、入院を目的とした脳神経内科の初診専用の診察です。  
 ※2 神経・精神科の対象は、一般的な精神科疾患ではなく高次脳機能障害等です。  
 ※3 手術がある場合は休診となります。  
 ※4 当センターで脊椎関係手術を受けた方のフォローアップ外来です。

○ 診療時間 午前8時45分～17時(診療予約制です。事前に電話で予約をしてからお越しください。)  
 ○ 受付時間 午前8時30分～16時45分  
 ○ 休診日 土曜日・日曜日・国民の祝休日及び12月29日・30日・31日、1月1日・2日・3日

○ 所在地 〒362-8567 上尾市西貝塚1-48-1 ○電話 048-781-2222(代) ○ホムペ-ジ <http://www.pref.saitama.lg.jp/rihasen/>